

不在票配達員 / Portoneon

作詞・作曲 植田歩幸 編曲 heco

はるか遠くペンを執ります。そちらは今春でしょうか。
夜は未だ冷え込むのでお身体の様子、心配です。

番地もそう住所すらも知りませんが届きますか。
切手代はいくらですか。そちらにポストはあるのですか。

そういえば話は少しだけ変わりますが、
随分と昔にもらったイヤリングが今日も綺麗です。

苦手なくせに私のこと驚かせようと、
顔を赤く染めて笑ってしまった日を思います。

何がそんなおかしいのと怒り気味で言われました。
そんなところも全部含め私はどうにも嬉しいのです。

こんなことを書くと無性に寂しくなって、
会いたくもなる日があるのです。同じだとどうか願います。

あの日出会えて私の人生に悔いはなく、
きっと私たちが世界で最も幸運です。

つらい日々のことは煙突の煙と追い出して、
ここに残ったのは幸せだけ、心配無用です。
生まれ変わったら初めて出会った橋にいます。
少し丈の長いあのズボンで迎えてください。

角の折れた小説と待ちます。